

第17回

## 生協組合員理事トップセミナーのご案内

日時: 2015/12/12(土) 13:00 開会 ~ 13(日) 12:30 閉会

会場: コープイン京都 締切: 10/30(金)

定員40名です。  
お早めにお申  
込みください。

### ご参加のお誘い

この9月に発生した関東・東北豪雨によって被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。戦後70年、平和憲法のもとで、私たちは戦争のない暮らしを当たり前としてきました。そして生協は、“平和とよりよい生活のために”を理念に、平和の活動にとりくんできました。しかし今、この「平和な暮らし」が脅かされる様々な事態に直面しています。同時に、国の主権は国民にあるという自覚のもとに、世代を超えて、平和を守る草の根運動が全国で広がっています。これは、かつて食品添加物に不安を持った母親たちが声をあげ、署名運動などにより、今日の食品安全行政を生協が大きく動かしてきた姿とも重なります。

今も昔も、生協として変わることのない理念、一方でその時々の情勢課題に向き合う姿勢を、私たち組合員理事は理事会の中で民主主義を体現する存在として、大切に続けていきたいものです。

生協ができたころとはケタ違いに大きくなった組織の中にあっても、組合員理事は、組合員の暮らしと事業経営の狭間に位置しています。これからの社会に「生協があってよかった」とされるために、組合員の願いをどのように受け止め、事業を通じてどのように実現していくのか、様々な生協の枠を超えて一緒に考えてみたいと思います。

「第17回生協組合員理事トップセミナー」の1日目は、「安心して暮らし続けられる超高齢社会にむけて～生協の可能性と組合員理事の役割」をテーマに基調講演いたします。「2025年」に向けて、地域や社会構造が大きく変化する中で、生協の主体者たる組合員が、当事者としての意識を持ち、その権利、役割をどう発揮するのか、組合員理事の責任と役割にも照らしてグループディスカッションで深めましょう。

2日目は、一昨年前までご好評を博しておりました講座を再開します。参加者のご要望にお応えし、4つのテーマを設けました。研究者から学び、共に考えましょう。

終了後のお楽しみ、オプションツアーは、「清水の舞台」「今年を表す漢字」でおなじみ「清水寺」を拝観します。非公開の多宝閣仏足跡や西門、内陣からの二十八部衆も特別にご案内いただきます。京の湯豆腐をいただきながら、今年の自分を表す漢字に思い巡らすひとはいかがでしょう。

2日間の学びと交流を通して、明日からの勇気と力につながることを願い、ご案内させていただきます。皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げます。



<呼びかけ人> 石井美登里 (おおさかパルコープ)・小澤郁乃 (コープしが)  
川村幸子 (京都生協)・柴田弘美 (京都生協)  
中野素子 (ならコープ)・平光佐知子 (コープあいち)

<主催> くらしと協同の研究所 ※呼びかけ人五十音順

くらしと協同の研究所

## プログラム

12月12日(土) 13:00~18:30 + 懇親会 (12:30 受付開始)

13:00 開会あいさつ・オリエンテーション

13:20 <基調講演> 浜岡政好

### 「安心して暮らし続けられる超高齢社会にむけて～生協の可能性と組合員理事の役割」

「2025年」に向けて超高齢化が進み、地域には配慮の必要な高齢者が増え、社会保障・社会福祉をはじめ社会の仕組み全体を変えることが求められています。私や私の家族のことに置き換えた場合、今、住んでいるまちで安心して暮らし続けることが出来るでしょうか。「地域包括ケア」とは、このことを組合員であり、地域住民である私がしっかりと自覚し、ケアが必要となっても、このまちで暮らし続けるために、ここに何があり、何が不足しているかなどを知り、そして同じまちに住む人びととともに、まちを創り直していく主体的営みのことなのです。

生協の最大の特徴は、人と人の協同がベースの社会資源であることです。これが超高齢社会のくらしの安心を生み出す源泉となるのです。組合員が日常生活圏というまちを、生協というインフラを活かして、また生協以外のインフラと結びつけて、さらに必要とあらば新たにインフラを創り出して、安心して暮らし続けられるまちをつくる力を高めることが求められています。「2025年」にむけて改めて組合員や組合員理事の役割をみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

15:05 グループディスカッション

17:20 グループ発表

18:00 講評とまとめ 杉本貴志 18:30 振り返り

19:00 夕食懇親会 おしゃべりサロン…まだまだ話したりない方は、集まりましょう！

12月13日(日) 8:40~12:30 + OPツアー

8:40 <講座> 加賀美太記／青木美紗／杉本貴志／北川太一

11:15 ミニ講座 (ワンポイント講演) 12:15 振り返り

12:25 閉会あいさつ

12:50 オプショナルツアー (詳細別紙) 16:00 案内終了、自由散策

後日、簡単な事前課題をお送りします。その取り組みからセミナーは始まります(^\_^)

## 講座テーマと趣旨

### ●日本経済の情勢と人々のくらし—格差社会の中で生協はどうあるべきか—

加賀美塾

安倍政権発足後、あれだけ喧伝された「アベノミクス」という言葉を耳にする機会が減りました。それもそのはず、2009年に底を打った日経平均株価こそ2万円付近まで上昇しましたが、一方で実質賃金は長期にわたって低下を続けるなど、私たちのくらしと日本経済の間には大きな隔たりがあるからです。生協の購買事業は、こうした経済情勢やそこでくらす人々の消費に関する意識に大きく左右されます。そのため、社会における生協の役割やこれからの方針を考える際には、社会や経済の状況を見る大きな視点と、人々のくらしを見つめる小さな視点の両方が必要です。本講座では、現在の経済情勢や近年の消費者意識などを概観しながら、生協に期待される役割とは何かを一緒に考えてみたいと思います。

### ●食卓と農の現場をつなぐ、生協らしい産直とは？

青木塾

生協産直は生協事業の中でも長い歴史がある取り組みです。食の供給が不安定だった時代には組合員に安定的に供給し、食の安全が懸念された時代には安全な食品を組合員に届けてきました。また、生産者とともに活動してきたところに特徴があると言えるでしょう。そしてこのような生協産直が発端となって生協以外にも全国的に広がりを見せています。このように安全とされる食品が生協以外でも手軽な価格で購入できるようになった今日、生協産直にはどのような役割があるのでしょうか。農業生産現場の現状や農産物直売所での取り組み、特色的なスーパーの取り組みなども参考にしながら生協産直の特徴を見極め、今後の方向性について議論したいと思います。

杉本 塾	<p>●協同組合とは何か？ その可能性を探る</p>
	<p>数十名によって細々と始まった生協が巨大化し、流通業の中で一定の位置を占める存在となったことで、逆にその本質が見えにくくなっているように思われます。生協は協同組合です。では、協同組合とは何なのでしょう。コメや野菜を出荷している農協も、漁船が帰ってくる港で魚を集めている漁協も、山を持っている地主たちが集まる森林組合も、街の人々が預金を預ける信用組合も、すべて協同組合です。消費者が集まって宅配や店舗で食品を購入する生協と、どこに共通点があるのでしょうか。それをきちんと自分の言葉で語れるようになった時、協同組合の本質が理解できるようになるでしょうし、その新たな可能性が見えてくるでしょう。古今東西さまざまな事例を見ながら、協同組合とはそもそも何なのか、考えてみようという講座です。</p>
北川 塾	<p>● 暮らしや地域の“主体者”になるとは —社会的なつながりの中で生協を考える—</p>
	<p>協同組合である生協の存在目的は、組合員の暮らしをより良くすること、さらには組合員が住み生協が立地する地域社会をより良くすることだと言えます。特に、真の暮らしの豊かさとは何か問い直され、「人口減少」や「地方創生」など地域社会をとりまく状況が変わりつつある中で、生協が組合員や職員だけではなく、産地の生産者、中小の製造・流通業者、自治体などと“つながり（関係性）”を創ることが重要になってきています。</p> <p>本講座では、①近年の国や自治体による「地域政策」の傾向を確認したうえで、②生協が暮らしや地域の主体者となるために、社会的なつながりをどのように創っていけばよいのか、特に生協が展開する事業がどのような役割を果たす可能性があるのかという視点を大切にしながら考えます。</p>

## 講師プロフィール

<p>はまおか まさよし 浜岡 政好</p>	<p>（佛教学名譽教授・当研究所研究委員）</p> <p>1942年、中国東北（旧満州）生まれ。高校生までは島根県で育つ。労働と生活の社会学。日本社会学会、社会政策学会など。暮らしと協同の研究所には発足前から関わっている。</p> <p>大学院時代から日雇労働者の生活実態調査やトヨタなど大企業労働者の労働・生活調査など、社会調査に基づく労働と生活の研究を行ってきた。佛教学では、京都・西陣や滋賀の湖東地域などの地域調査や生協組合員の生活実態調査、阪神・淡路大震災後の仮設住宅居住者調査、島根県西部の過疎・高齢地域の調査などを行ってきた。このほか1990年以降、行政と一緒に京都市や吹田市などの高齢者調査を定期的に行っている。こうした調査研究をもとに政策研究や政策提言を行ってきた。</p>
<p>きたがわ たいち 北川 太一</p>	<p>（福井県立大学教授・当研究所研究委員）</p> <p>どちらかと言えばマイペース、あまり人と群れないタイプの私が、「協同」に関心を持ち、その重要性を痛感しているから不思議です。“指した手が最善手”“No Rain, No Rainbow”、前を向いて少しずつ進みたいですね。大学では、「農業経済学」、「食料・農業政策論」などを担当。著書として、『新時代の地域協同組合』ほか。地域農林経済学会常任理事、コープ北陸事業連合理事、ふくいエコ・グリーンツーリズム・ネットワーク監事などを務める。</p>
<p>すぎもと たかし 杉本 貴志</p>	<p>（関西大学教授・当研究所研究委員）</p> <p>日本学術振興会特別研究員、生協総合研究所客員研究員等を経て、関西大学商学部教授。協同組合論・生活協同組合論担当。暮らしと協同の研究所『暮らしと協同』編集長。本セミナーには、第2回から関わる。共著書に、『協同組合 未来への選択』（日本経済評論社、2014年）、『協同組合を学ぶ』（日本経済評論社、2012年）、『食と環境』（晃洋書房、2008年）、『生協は21世紀に生き残れるのか』（大月書店、2000年）など。共訳書に、J・バーチャル『国際協同組合運動』（家の光協会、1999年）、J・バーチャル『コープピープルズ・ビジネス』（大月書店、1997年）、『西暦2000年における協同組合〔レイドロー報告〕』（日本経済評論社、1989年）など。</p>

かがみ たいき  
**加賀美 太記** (就実大学専任講師・当研究所研究委員)

専門はマーケティング・流通など。現在は、後発企業や協同組合のマーケティングの観点からブランドの形成にいたるプロセスを研究しています。なお、来年から大学で新しく「協同組合論」を開講します。協同組合はなじみ深いようでいて、学生には実はキチンと理解されていません。一方、学生は社会問題へ強い関心を持っています。講義を通じて学生と協同組合をつなげながら、社会における協同組合の可能性を考えてもらいたいと思っています。所属学会は日本流通学会、日本商業学会、日本協同組合学会など。近著に「格差社会の進展とマーケティングの変化」(『格差社会と現代流通』所収、近刊)など。

あおき みさ  
**青木 美紗** (奈良女子大学助教・当研究所研究委員)

海外や日本での食に関する調査、大阪府での農業担当としての公務員経験を通して、日本の豊かな食文化を生み出した自然や社会を大事にしていきたいと思うようになりました。研究者としても生活者としてもまだまだ若輩者ですがよろしくお願ひします。大学では「生活経済学」の講義を担当しています。『くらしと協同』副編集長、奈良女子大学生協理事も務めています。専門は、農業経済学など。所属学会は、地域農林経済学会、日本協同組合学会など。論文に「都市部の農協直売所を活用した農業振興事業が販売および生産に与える影響」「認証農産物の地産地消活動を通じた地域協同組合としての農協の役割」など。

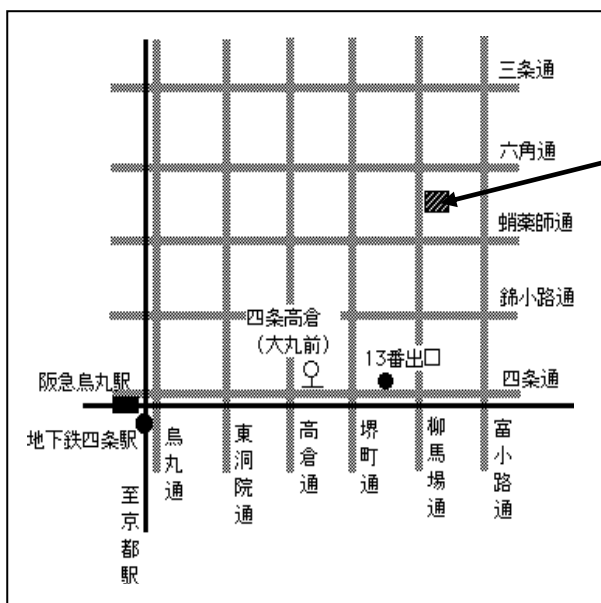
### 募集要項

- 【募集人数】 40名 少人数での学びを重視した人数です。  
 【参加対象】 生協組合員理事(非常勤理事) 2日間とも参加できる方に限ります。  
 【申込締切】 10月30日(金) 先着順で定員に達し次第、締切らせていただきます。  
 【参加費】 ②③④は希望者。

①セミナー参加費	20,000円	団体会員生協・個人会員=18,000円
②懇親会費	5,000円	コープイン京都
③宿泊斡旋	9,900円	コープイン京都(シングル・朝食付)
④オプションツアー	4,800円	詳細別紙

- 【スケジュール】 10/30 申込み締切 → 11/5 事前課題発送 → 11/30 事前課題必着  
 【お支払方法】 請求書をお送りしますので、指定口座にご入金ください。  
 【キャンセル】 事前課題の関係で追加募集ができません。なるべくキャンセルのないようにお願いします。やむを得ずキャンセルの場合は次の料金を申し受けますことをご了承下さい。  
 ・12/1~8⇒参加費 20%、宿泊費 10%、12/9~10⇒参加費、宿泊費とも 20%  
 ・前日~当日⇒参加費、懇親会費、宿泊費、OP ツアー代とも 100%  
 ※当日の緊急連絡は、コープイン京都までお電話ください。研究所は不在です。

### 会場案内 (コープイン京都)



**コープイン京都**  
 電話：075-256-6600  
 住所：京都市中京区柳馬場蛸薬師上る  
 最寄駅：市営地下鉄「四条駅」もしくは  
 阪急「烏丸駅」から徒歩約13分。  
 四条通地下道13番出口が近いです。

**くらしと協同の研究所**  
 〒604-0851  
 京都市中京区夷川通烏丸東入る西九軒町291  
 電話：075-256-3335  
 FAX：075-211-5037  
 E-mail: [kki@ma1.seikyou.ne.jp](mailto:kki@ma1.seikyou.ne.jp) (ma1の1は数字)  
 URL: <http://www.kurashitokyodo.jp>